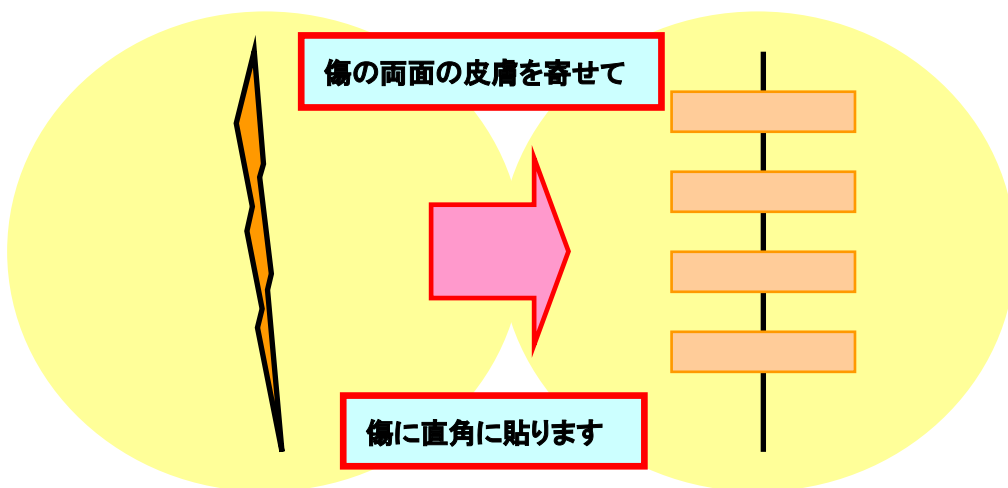


抜糸後のテープの固定について

手術の傷跡は糸を抜いた後も、少しずつ広がっていきます。少しでも傷跡を目立たせなくするために、抜糸後は最低でも1ヶ月間、出来れば2~3ヶ月間テープを固定する必要があります。(傷跡の固定に使用するテープは3M社製のマイクロポラスサージカルテープ「肌色」が最適です。当院前の院外薬局や大きな薬局で販売しています。)

【貼り方】

- ① 傷跡の大きさに応じてテープを切ります。
(例 傷跡の長さが2cm なら0.5×2cm を3本位、8cm なら1×3cm を5本位が目安です)
- ② 傷の両側の皮膚を幅を狭くするように引き寄せておいて、傷に直角に貼ります。
- ③ 貼る間隔はテープの幅と同じくらいに貼って下さい。



【注意事項】

テープは緩んだり、剥がれるまで貼り替える必要はありません。
通常は一旦貼れば3日位は剥がれませんが、無理に剥がすと傷が開いたり、皮膚を痛めることとなります。
万一、テープを貼った部分が赤くなったり、水泡ができた時はその部分が治るまでテープを貼らないでください。
テープ固定は日焼けを防ぎ、傷跡の色素沈着も防ぎます。